

Mascot Daemon のログを書き換える手順

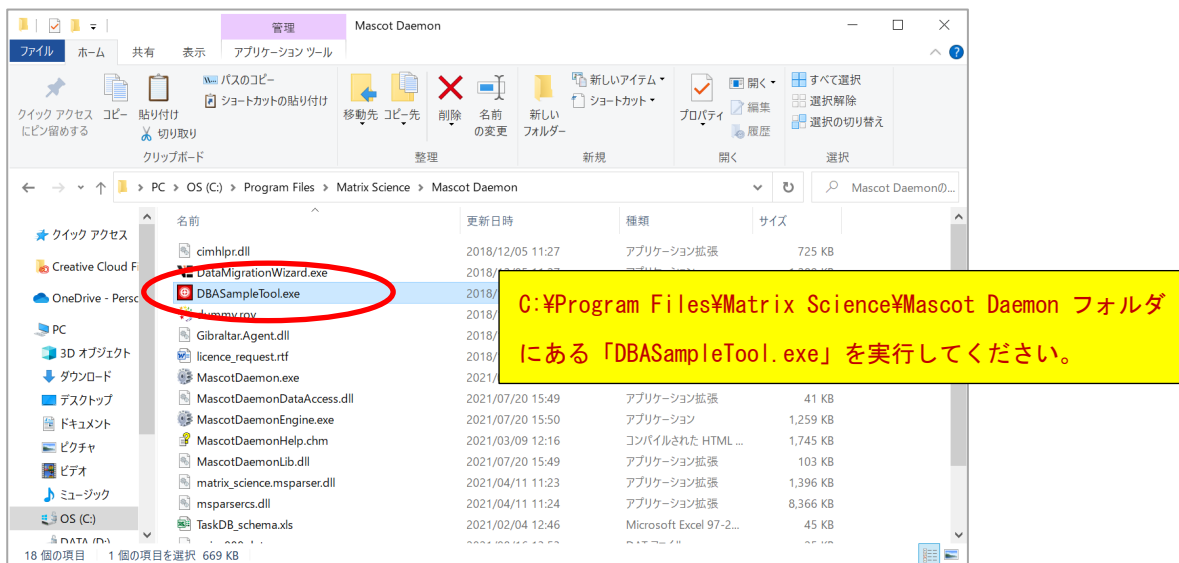
Mascot Daemon は、Mascot 検索に関わる情報を VistaDB のデータベースファイル (taskdb.vdb5) で管理しています。Mascot Daemon がインストールされているコンピュータを移設すると、Mascot Daemon の画面から直接 Task を消せなくなります。また、たまってきた Task を一つ一つ消すのは大変です。それらを SQL コマンドでまとめて消したり書き換えたりすることができます。

この手順書では、任意の Task 番号より古い Task をまとめて消す方法を「1.共通準備」→「2.古い Task をまとめて消す (N 番以前の Task を削除する)」で、古いコンピュータの URL を新しいものに変える方法を「1.共通準備」→「3.古いコンピュータの URL を新しいものに変える」で解説していきます。

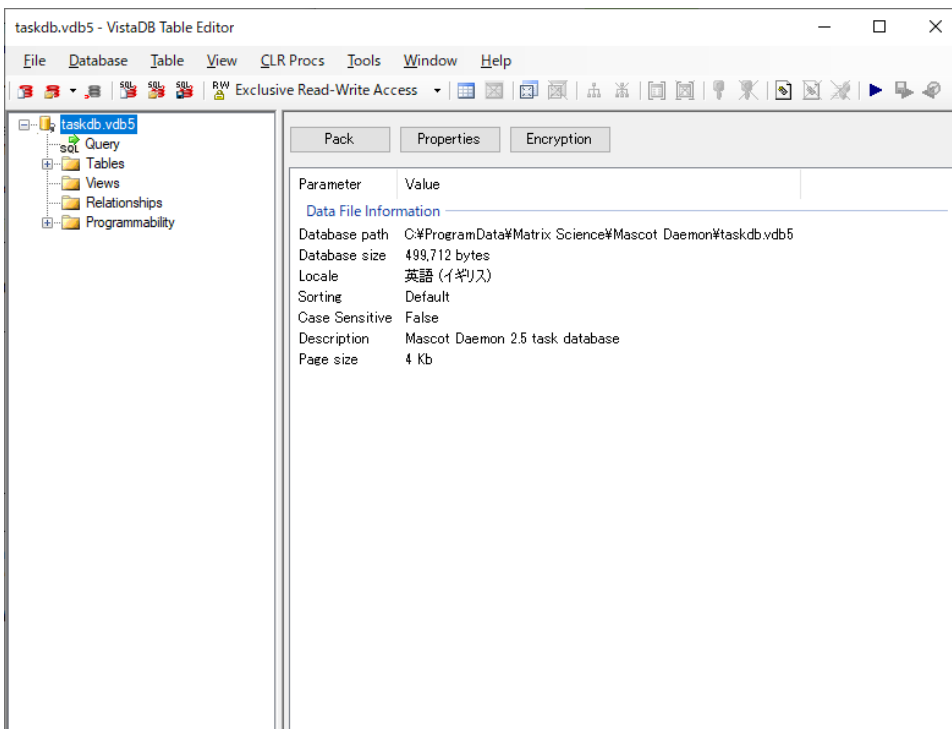
1. 共通準備

(1) taskdb.vdb5 のバックアップを取っておいてください。(標準インストール先は C:\ProgramData\Matrix Science\Mascot Daemon です。)

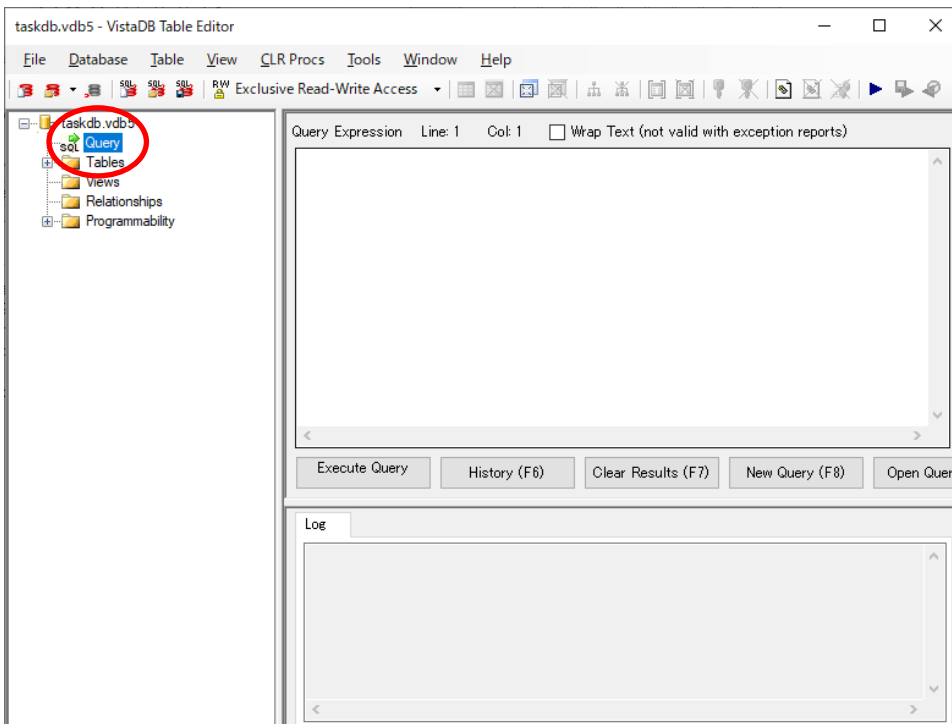
(2) DBASampleTool.exe を起動してください。



(2) タスクバーの「File」→「Open Database」で taskdb.vdb5 を開いてください。



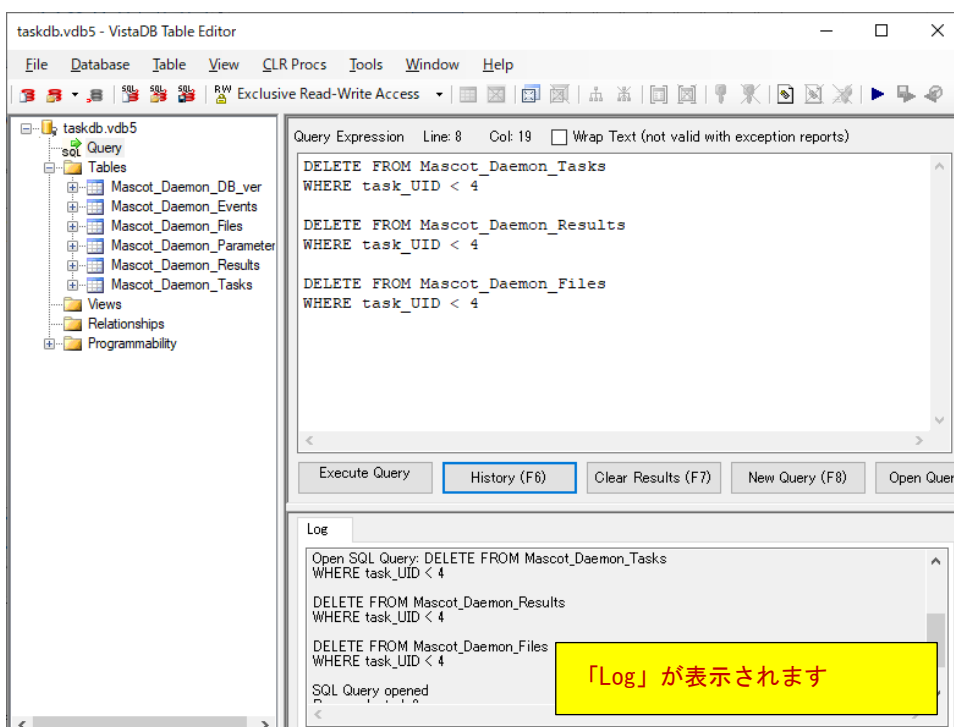
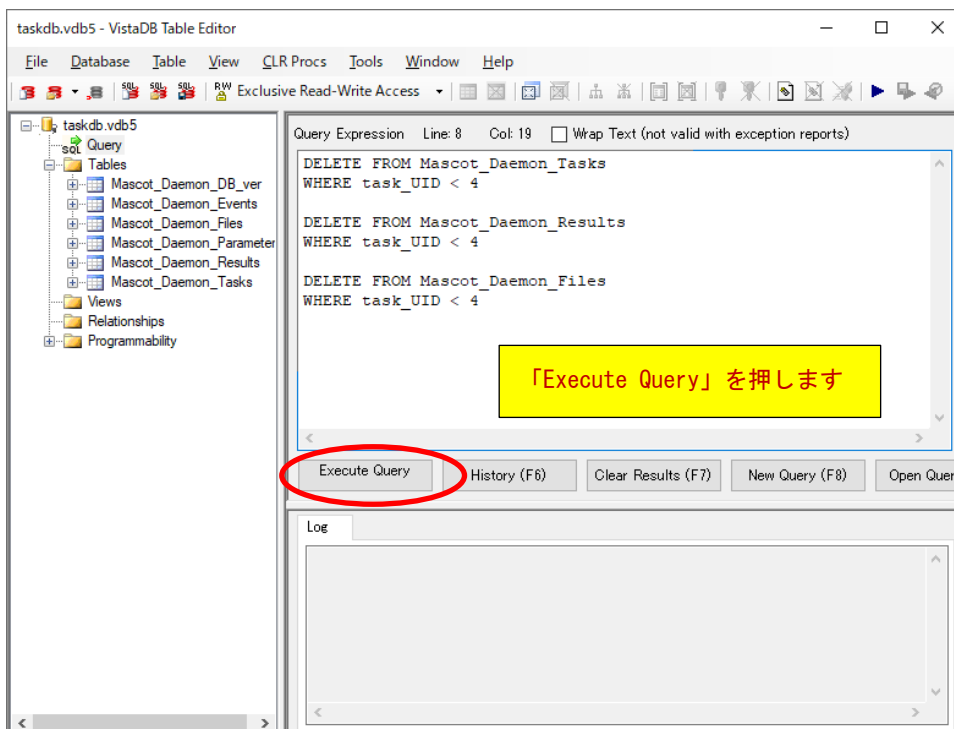
(3) 画面左の「Query」を押してください。SQL コマンドを入力する画面に遷移します。



2. 古い Task をまとめて消す (N 番以前の Task を削除する)

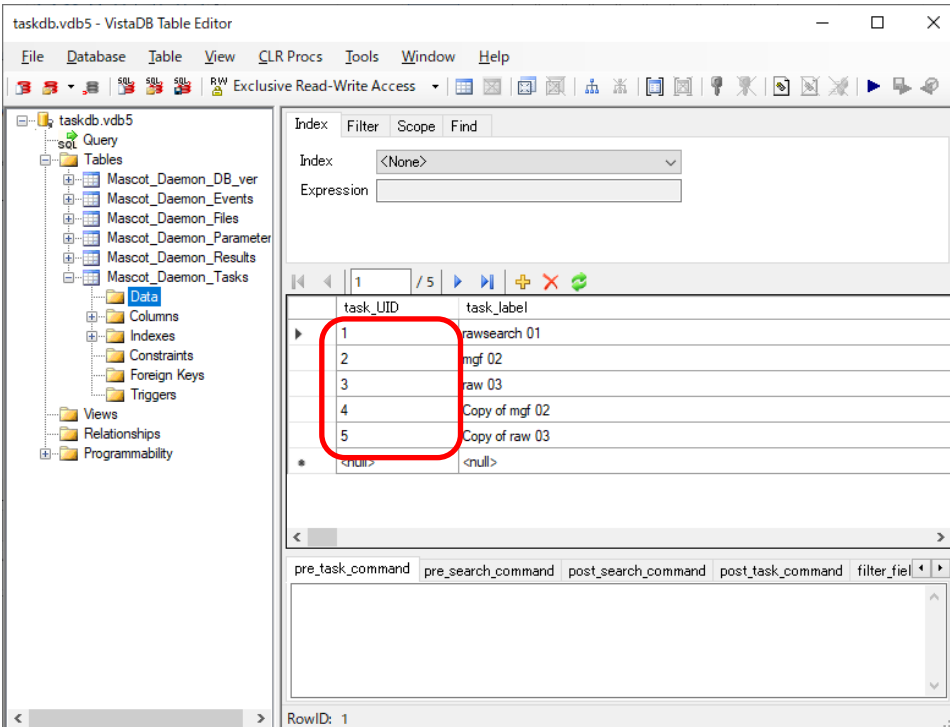
SQL コマンド入力画面に以下のコマンドを入力します。

```
DELETE FROM Mascot_Daemon_Tasks
WHERE task_UID < N 番 (整数を直接記入。例)1494)
DELETE FROM Mascot_Daemon_Results
WHERE task_UID < N 番
DELETE FROM Mascot_Daemon_Files
WHERE task_UID < N 番
```



今回の例では4より古い、1~3のTaskを纏めて消去しました。

SQL コマンド実行前



taskdb.vdb5 - VistaDB Table Editor

taskdb.vdb5

- Query
- Tables
 - Mascot_Daemon_DB_ver
 - Mascot_Daemon_Events
 - Mascot_Daemon_Files
 - Mascot_Daemon_Parameter
 - Mascot_Daemon_Results
 - Mascot_Daemon_Tasks
- Data
- Columns
- Indexes
- Constraints
- Foreign Keys
- Triggers
- Views
- Relationships
- Programmability

Index: <None>

Expression:

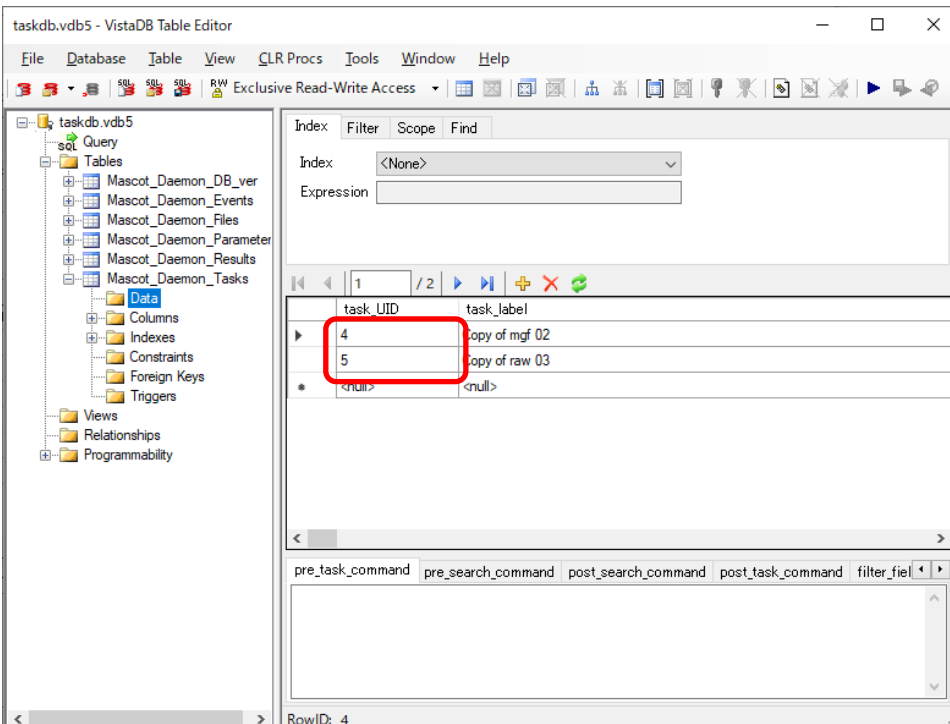
1 / 5

task_UID	task_label
1	rawsearch 01
2	mgf 02
3	raw 03
4	Copy of mgf 02
5	Copy of raw 03
<null>	<null>

pre_task_command pre_search_command post_search_command post_task_command filter_fiel

RowID: 1

SQL コマンド実行後



taskdb.vdb5 - VistaDB Table Editor

taskdb.vdb5

- Query
- Tables
 - Mascot_Daemon_DB_ver
 - Mascot_Daemon_Events
 - Mascot_Daemon_Files
 - Mascot_Daemon_Parameter
 - Mascot_Daemon_Results
 - Mascot_Daemon_Tasks
- Data
- Columns
- Indexes
- Constraints
- Foreign Keys
- Triggers
- Views
- Relationships
- Programmability

Index: <None>

Expression:

1 / 2

task_UID	task_label
4	copy of mgf 02
5	copy of raw 03
<null>	<null>

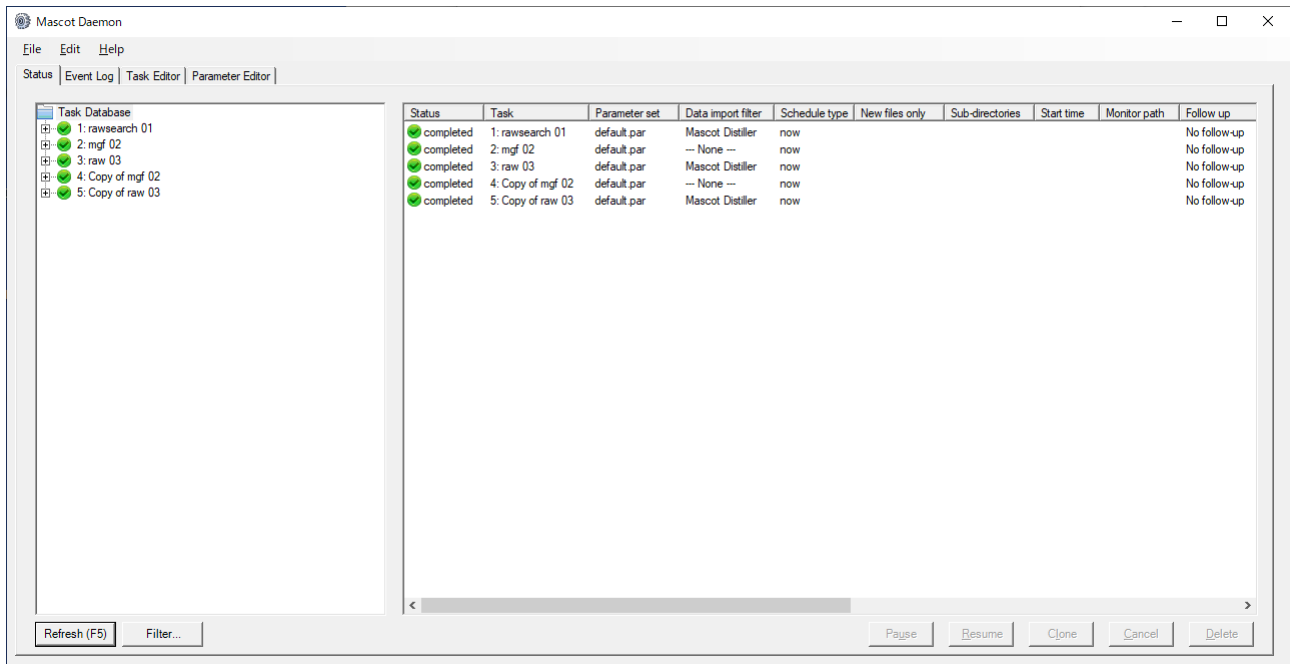
pre_task_command pre_search_command post_search_command post_task_command filter_fiel

RowID: 4

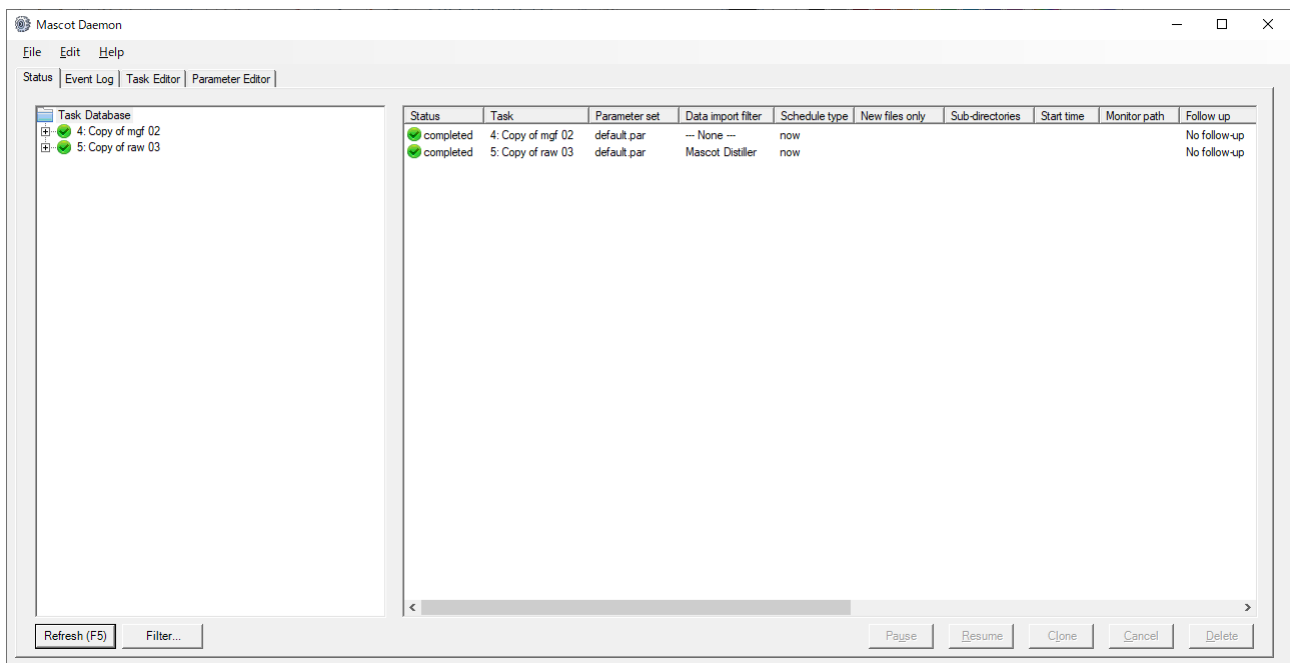
Mascot_Daemon_Tasks の他、Mascot_Daemon_Results、Mascot_Daemon_Files でも同様に task_UID で1~3にあたるデータが削除された結果が確認できます。

Daemon の画面で見ると、以下のように変化します。

SQL コマンド実行前



SQL コマンド実行後

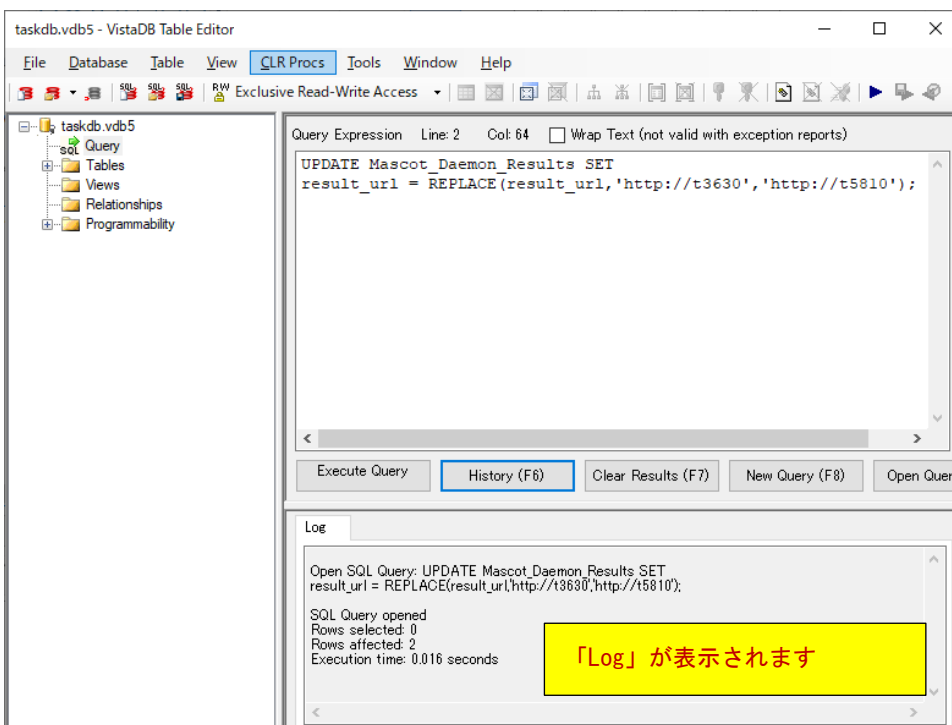
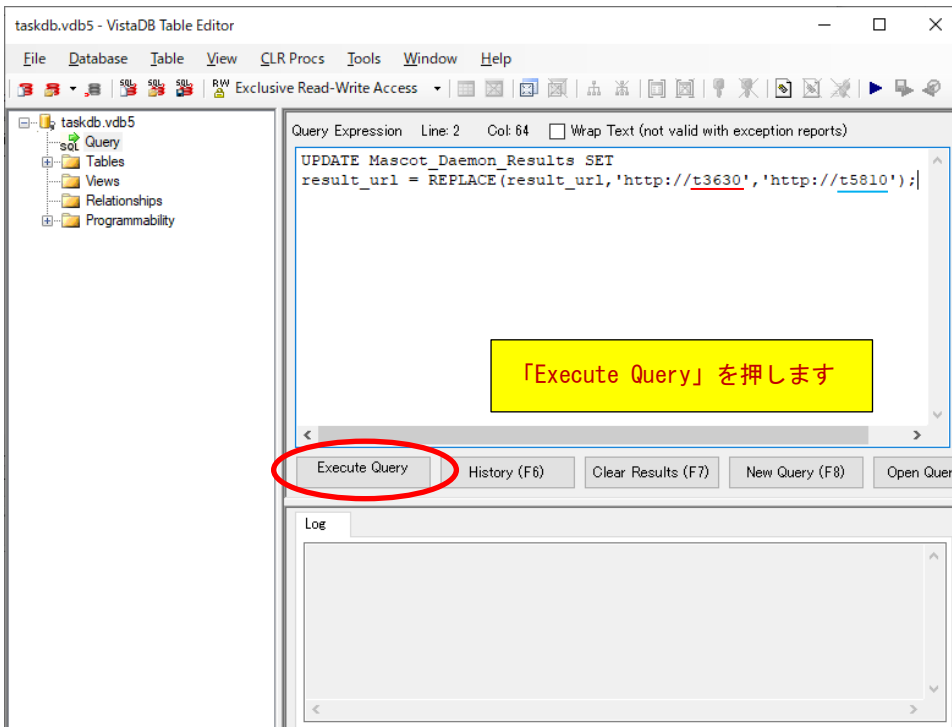


3. 古いコンピュータの URL を新しいものに変える

SQL コマンド入力画面に以下のコマンドを入力します。改行はあっても無くても構いません。

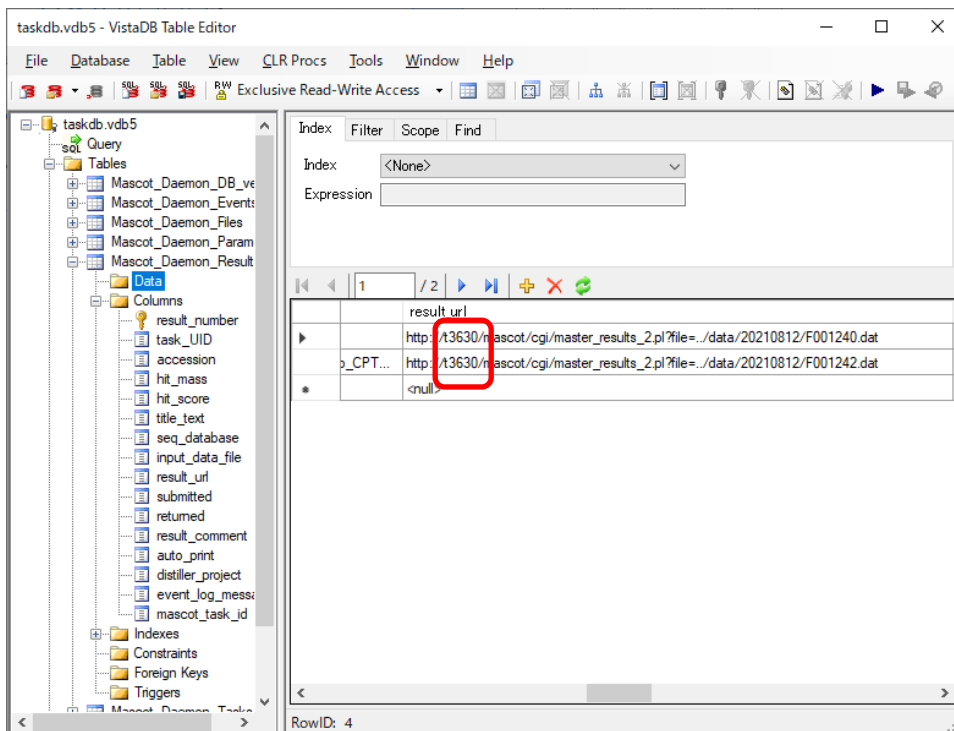
```
UPDATE Mascot_Daemon_Results
SET result_url = REPLACE(result_url,'http://old_server','http://new_server');
```

old_server に古いコンピュータの名前を、**new_server** に新しいコンピュータの名前を入れてください。
例では **old_server** を t3630、**new_server** を t5810 として入力しています。

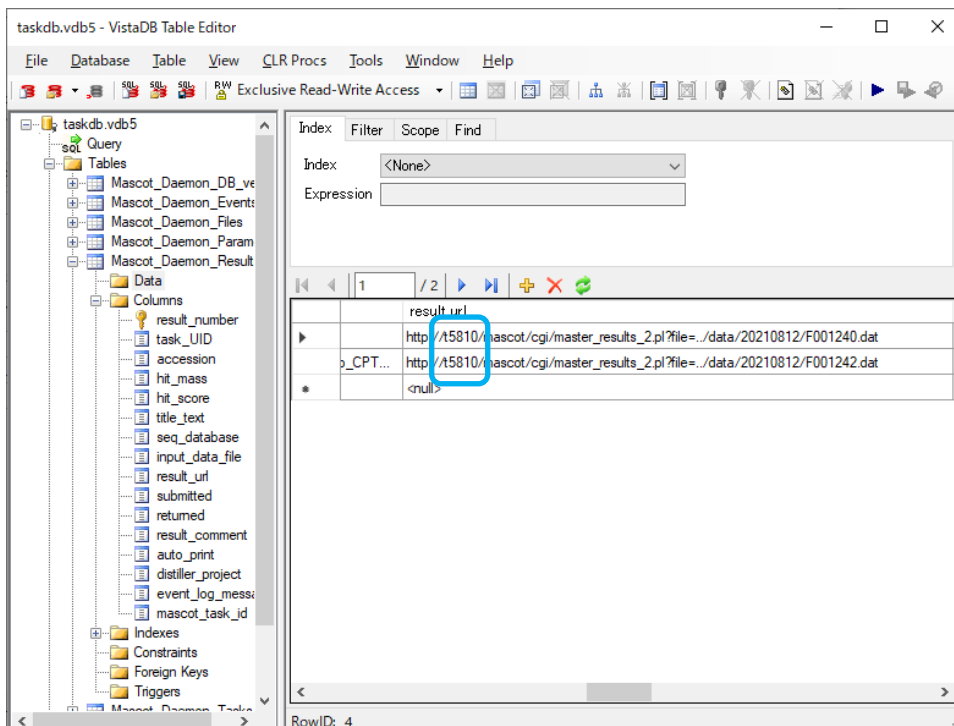


Mascot_Daemon_Results における result_url の項目が、以下のように書き換えられます。

SQL コマンド実行前



SQL コマンド実行後



以上

何かお困りのことがありましたら Mascot サポートにご連絡ください。



〒100-0015 東京都台東区東上野 1-6-10 ART ビル 1F

support-jp@matrixscience.com

03 5807 7895